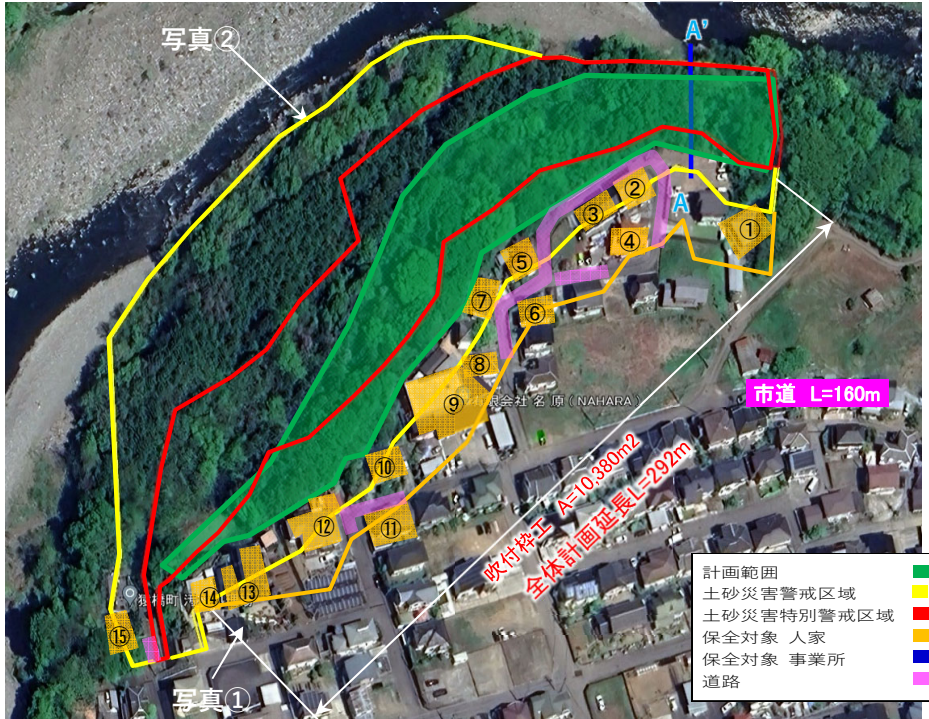


1. 事業説明シート

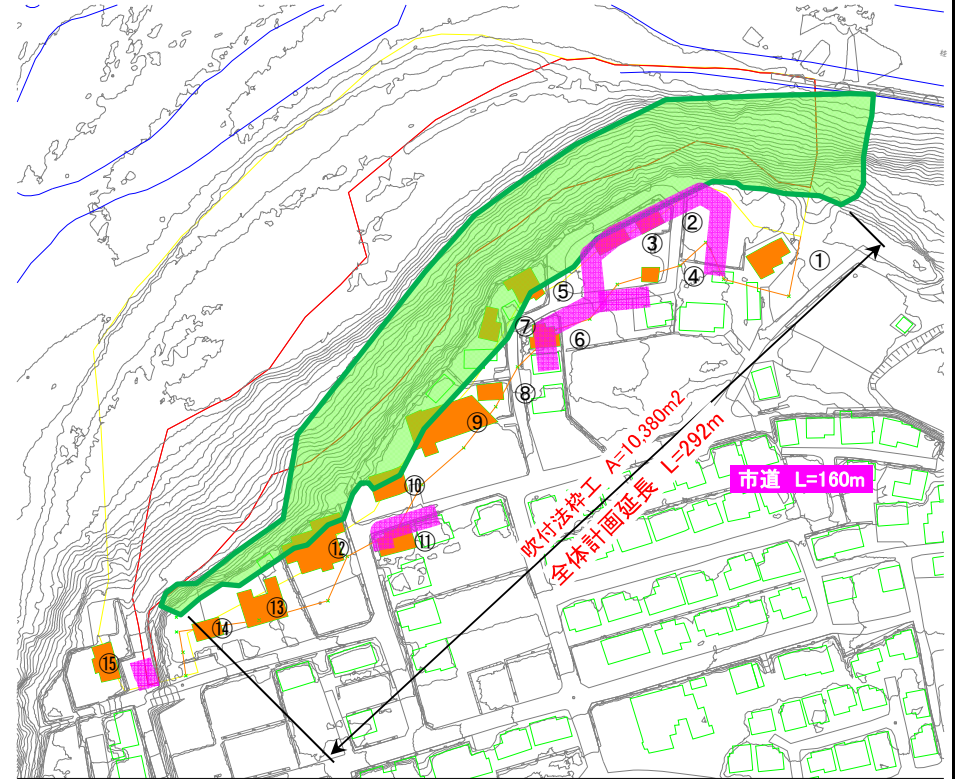
事業名	急傾斜地崩壊対策事業 [急傾斜地崩壊対策事業 (国補)]		事業箇所	大月市猿橋町猿橋		地区名	猿橋-2 (サルハシノニ)		事業主体	山梨県																																								
(1) 事業の概要						(3) 事業の妥当性評価																																												
<p>①課題・背景</p> <p>猿橋-2地区は山梨県東部の大月市猿橋町猿橋に位置する急傾斜地であり、平成21年11月30日に土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域に指定されている。当該斜面は平均斜面高20m、平均勾配42度の急傾斜地であり、保全対象は人家15戸、市道L=160mがあり、当該斜面が崩壊した場合には、人命に影響のある災害が発生する恐れがあるため、事業の実施が急務である。</p> <p>②整備目標・効果</p> <p>□主要目標 ○崖崩れ被害の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害実績：無 ・保全人家戸数：15戸 > 5戸以上※ ・重要公共施設の有無：無 <p>(保全対象=人家15戸、市道L=160m)</p> <p>※評価基準値</p> <p>□副次目標 —</p> <p>□副次効果 —</p>						<p>妥当 妥当でない</p> <p>①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <p>急傾斜地法第12条により、行政が行うことが妥当。</p> <p>②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <p>急傾斜地法第12条により、県が行うことが妥当。</p> <p>③経済妥当性 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総事業費</td> <td>740 百万円</td> <td>工期</td> <td>R7~R16</td> <td>基準年</td> <td>R6</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>585 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">1424 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>584 百万円</td> <td>一般資産被害</td> <td colspan="2">1,171 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>1 百万円</td> <td>公共土木施設等被害</td> <td colspan="2">37 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>人的被害</td> <td colspan="2">213 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>その他※</td> <td colspan="2">3 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">B/C</td> <td colspan="3">2.4</td> </tr> </table> <p>※その他は応急対策 (家計)、人的被害 (精神的損失)</p> <p>費用便益比 (B/C) は1.0を超えており、経済効率性は確保されている</p>						総事業費	740 百万円	工期	R7~R16	基準年	R6	経済効率性	費用	585 百万円	便益	1424 百万円		建設費	584 百万円	一般資産被害	1,171 百万円		維持管理費	1 百万円	公共土木施設等被害	37 百万円				人的被害	213 百万円					その他※	3 百万円		B/C			2.4		
総事業費	740 百万円	工期	R7~R16	基準年	R6																																													
経済効率性	費用	585 百万円	便益	1424 百万円																																														
	建設費	584 百万円	一般資産被害	1,171 百万円																																														
	維持管理費	1 百万円	公共土木施設等被害	37 百万円																																														
			人的被害	213 百万円																																														
			その他※	3 百万円																																														
B/C			2.4																																															
(2) 整備内容						(4) 事業実施・規模の妥当性																																												
<p>①整備内容 吹付砕工 A=10,380m²</p> <p>②着手年度 令和7年度 ③完成見込年度 令和16年度</p> <p>④総事業費 約740百万円 (国費:333百万円(4.5/10)、県費:333百万円(4.5/10)、その他:74百万円(1.0/10))</p> <p>⑤年度別の整備内容 (事業費)</p> <table style="width:100%;"> <tr> <td>令和7年度</td> <td>測量、地質調査、詳細設計</td> <td>20 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和8年度</td> <td>用地測量・調査、用地取得・補償</td> <td>20 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和9~16年度</td> <td>吹付砕工</td> <td>700 百万円</td> </tr> </table>						令和7年度	測量、地質調査、詳細設計	20 百万円	令和8年度	用地測量・調査、用地取得・補償	20 百万円	令和9~16年度	吹付砕工	700 百万円	<p>④事業実施・規模の妥当性 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <p>地形状況を考慮し、必要最小限の規模とした。</p> <p>⑤整備手法の有効性 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <p>地形・地質状況から最も効果的・経済的な工法とした。</p> <p>⑥環境負荷等への配慮 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <p>環境負荷の少ない工法を採用する。</p> <p>⑦事業計画の熟度 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <p>地元要望に基づいており、大月市から受益者負担金の同意は得られている。</p>																																			
令和7年度	測量、地質調査、詳細設計	20 百万円																																																
令和8年度	用地測量・調査、用地取得・補償	20 百万円																																																
令和9~16年度	吹付砕工	700 百万円																																																
						総合評価 [貢献度ランク: b]																																												
<p>※記載内容は見込みであり、確定したものではない。</p> <p>⑩既整備内容・期間・事業費 未整備</p>						<p>(4) 事業位置図等</p> 																																												

2. 添付資料シート

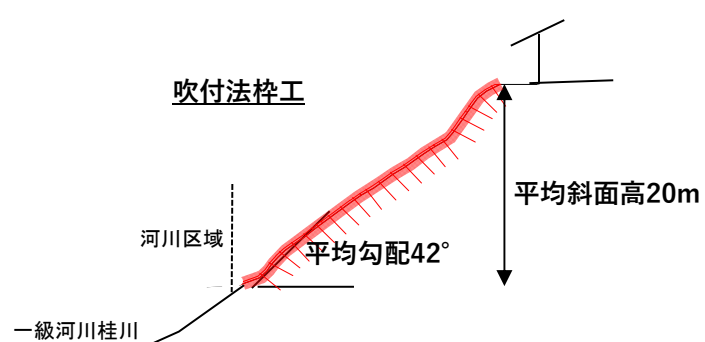
【斜面鳥観図】



【平面図】



【標準横断面図】



①保全対象



②斜面状況(全景)

